

No. 9
2016.Sep.



〈地域〉と〈大学〉をつなぐ
経験値教育プログラム



園田学園女子大学
園田学園女子大学短期大学部
地域連携推進機構

〒661-8520 兵庫県尼崎市南塚口町7丁目29-1
TEL: 06-6429-9921 FAX: 06-6422-8523
E-mail: chiikirenkei@sonoda-u.ac.jp

Newsletter



久です!!

この夏、つなGirlは、一般社団法人尼崎青年会議所主催の『青少年キャンプin 淡路島〜FOR YOU☆FOR MYSELF〜』に6名が参加しました。平成28年8月7日(日)〜8月8日(月)の2日間、淡路島のひれオートキャンプ場で行われました。

はじめに、自分たちで企画したバス内でのレクリエーションの司会を務めました。子どもたちから直接「楽しかった。」「レクリエーションをしてくれてありがとう。」という言葉ももらい、子どもたちに喜んでくれたことを実感しました!

私たちつなGirlはサブリーダーとして一人ずつ子どもたちの班について、チームビルディングや魚のつかみ取りなど、様々なプログラムで子どもたちのサポートを行いました。バーベキューやキャンプファイヤーなどでは、子どもたちと同じように美味しくお肉を食べたり、楽しく歌を歌ったりダンスをしたりと、キャンプそのものも楽しみました。

今回のキャンプには、100人の大人たちと60人の子どもたち

が集まりました。つなGirlにとってこのような大規模なイベントは初めてでした!! どちらとも打ち解けることができるか不安でしたが、帰る頃には、子どもたちが寂しがってくれていて、とても嬉しかったです!

2日間とも炎天下での活動がほとんどでした。子どもたちが熱中症にかからないよう、どの場面でも、水分補給の場を設け、熱中症対策を行っていた尼崎青年会議所の方々大きなサポートと行動力に感動しました。

今回のつなGirlの役目は、子どもたちのサポートで、責任も大きかったです。しかし、子どもたちがキャンプ中、笑顔を絶やさずいきいきとしていたので私も元気をもらえました。また、子どもたちや尼崎青年会議所の方々と一緒にキャンプを楽しむことができてよかったです。

子どもたちをまとめるサブリーダーとして積極的に動き、サブリーダーという役割を果たすことができたと思います。



近松人形劇部 in みんなのサマーセミナー 『近松門左衛門ってどんな人?』

8月6〜7日にかけて行われた「みんなのサマーセミナー」で、園田学園女子大学の近松人形劇部が、近松門左衛門についての授業を行いました。この目的は、私たちの部活の存在を知ってもらうため、そして、近松門左衛門の作品をみんなで楽しむためです。授業の内容は、①近松門左衛門について、②『日本振袖始』の紹介、③折り紙で思い出作りの3つを行いました。

①尼崎が近松門左衛門のゆかりの地だということで、どこで生まれたのか・なぜ尼崎にゆかりがあるのか、という説明をしました。

②近松門左衛門は、たくさんのお話を書いた人物ですが、その中でも私たちのお気に入りの作品である『日本振袖始』というお話を、絵を使って分かりやすく紹介しました。この話の最後にクイズを出題し、みんなで盛り上がりました。

③今回の授業の記念と思い出作りに、『日本振袖始』に登場する、主人公の素戔鳴尊(すさのおのみこと)という男の人を折り紙で作って、持って帰っていただきました。

部活動を始める2年半前までは、文楽には全く関わりが無く、難しい・大変だというイメージがありました。しかし、近松応援

団の方たちと出会い、人形劇を教えていただくうちに、だんだんと楽しさや魅力が分かるようになってきました。今回の「みんなのサマーセミナー」では、その気持ちを伝えることができていると思います。そして、今回授業に来てくださった高校生が、もし園田学園女子大学に進学したときには、近松人形劇部に入学してくれることを望んでいます。

10月2日(日)午後1時から、尼崎市立園田北小学校で行われる、尼崎市市制100周年記念事業「万葉の里・石見神楽祭」に参加します。そこでは『日本振袖始』の人形劇を行います。

参加無料なので、ぜひ見に来てください!

近松人形劇部 森彩香

尼崎市市制百周年記念祝賀事業
万葉の里
石見神楽祭
日程: 10月2日(日)
時間: 13:00~
場所: 尼崎市立園田北小学校 体育館

◆日本振袖始(園田学園女子大学 近松人形劇部)
◆石見神楽(真砂楽保存会)

【お問い合わせ】
石見神楽祭実行委員会
事務局長 内田大造 tel: 090-3490-8623

地(知)の拠点大学による地方創世推進事業COC+「子育て高齢化対策」領域シンポジウム

神戸大学・神戸市看護大学・園田学園女子大学
3大学合同報告会『プラットフォーム』

2016 10/15 sat
園田学園女子大学 3号館2階 321教室
定員 140名 要予約

第1部 シンポジウム「みんなで考える少子高齢化社会」
神戸大学 高田哲・神戸市看護大学 相原洋子・園田学園女子大学 野呂千鶴子・園田学園女子大学 大江篤

第2部 ポスター掲示・情報交換会
第3部 学生の部「各大学における地域での取り組みと成果報告」

MUSUBU
地(知)の拠点

お申し込み・お問い合わせ
氏名(フリガナ)・ご所属・ご連絡先を
下記 (Email もしくはFAX) までお送りください

神戸大学保健学研究科地域連携センター(担当: 藤本)
〒654-0142 兵庫県神戸市須磨区友が丘7-10-2
神戸大学大学院保健学研究科C405
TEL&FAX 078-796-4526
E-mail hokencoplus@gmail.com

締め切り 10/7(金)

地域志向科目「つながりプロジェクト①」
『地域の学びプロデュース演習』



「まちの人がセンセイに。二日間の学校ごっこ」を合言葉に2016年8月6～7日に開催された「みんなのサマーセミナー」。尼崎市内の旧聖トマス大学と百合学院中学高等学校の校舎を使って、325講座、のべ3000人を超える生徒でにぎわう「地域の学び」をテーマとしたイベントへの参加がこのプロジェクトの目標でした。

学生たちはセンセイとして、本学で得た自らの学びを子どもからお年寄りまでに広く伝える授業を開講しました。学科や自分の関心ごとにチームに分かれ「みんなでラクロス!!」「世界一受けたい手遊びの授業」「人体の不思議」「日韓アイドル論~boy's ver.~」「味噌ソムリエ」「ニュースポーツをしよう」の6講座を企画。

準備段階では「彼女たちに本当に授業なんてできるのか」と不安だった講師の心配をよそに、いざ教壇に立つと堂々とした授業を見せてくれました。それぞれが本学で学んだ専門知識や経験を地域の人たちへと伝える場として手応えを感じたようです。

さらに多くのボランティアから組織される実行委員会の会議へも参加。イベント前の企画準備、設営から最後の片付けまでに関わり、多様な人たちが立場を超えて協働で事業を完成させていく地域連携の現場を体験したのです。

つながりプロジェクト①
担当：株式会社地域環境計画研究所 若狭健作

地域志向科目「つながりプロジェクト②」
『地域における感染対策「手洗い教室」』

この科目では地域と園田学園女子大学の連携により、学生が地域住民へ向けて「感染予防のための手洗い講習会」を行い「効果的な手洗い方法」を広めることにより、地域ぐるみでの感染対策に繋げることを目的としています。

学生は手洗い講習を行うために、まず、手洗いを行って、細菌や汚れの指標としてのATPの変化を調べたり、蛍光ローショ

ンを用いたりして効果的な手洗い方法についての知識とスキルを見につけました。次に、それらのことを基にグループ毎に「手洗い講習会」を企画し、うまく伝えることができるよう模擬授業を行い準備しました。

そして、尼崎市の全ての公民館（中央・園田・大庄・小田・武庫・立花公民館）に協力をいただき、「手洗い講習会」を企

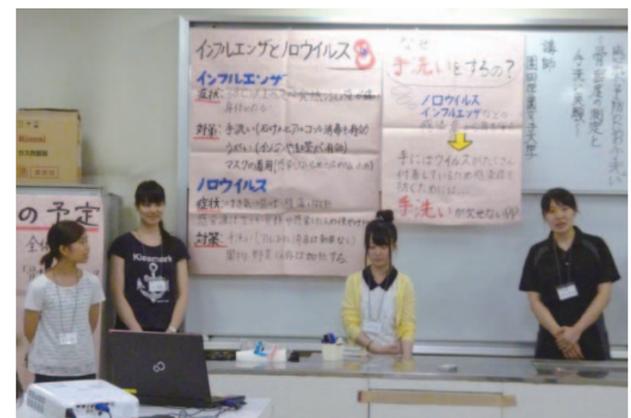
つながりプロジェクト②
担当：株式会社地域環境計画研究所 若狭健作

画することができました。8月末現在までに中央公民館、園田公民館、立花公民館、武庫公民館での開催が終わっています。

- 手洗いの講習は
- ①手洗いの必要性を伝える
 - ②蛍光ローションを使用した手洗い実験を通して効果的な手洗いを行う必要性を伝える。
 - ③手洗いのポスターを用いて効果的な手洗い方法を伝える。のポイントを押さえて行いました。

事前に色々なことを準備していきましたが、想定どおりにいかないところもありましたが、状況に合わせて協力しながら進めることができました。緊張しながらも一生懸命に説明する学生の思いとともに地域に感染予防のための手洗いが広がると良いと思います。

つながりプロジェクト②
担当：山本恭子



地域志向科目「つながりプロジェクト③」
『地域に身近な薬局フリースペースにおける健康づくり』



このプロジェクトは、ファイン薬局尼崎支店のフリースペース「ツナガリ珈琲館」を利用して、地域の人が楽しく気軽に利用できる健康づくりの取り組みを企画・実施し、薬局のスタッフや利用する人々と関わりながら地域における健康づくりを考えていくことを目指しています。

4月の授業スタートから、尼崎のまちの課題、全国の薬局での取り組みや、各地で行われている健康づくりの事例を調べながら、「ツナガリ珈琲館」でできるプログラムを考えてきました。そして、8月25日、学生自身が企画したプログラムを実践するイベント「つなガール講座」を開催。「正しい手洗い講座」「夏の旬野菜講座」「スゴクロー子どもも楽しめるスペースづくり」という3つの講座をそれぞれチームに分かれて行いました。

イベント当日は準備をしてきた講座プログラムを披露でき、お父さんにも楽しく参加いただくことができました。また、「ツナガリ珈琲館」で「こころカフェ」という心理カウンセリングの活動を定期的に行われているグループのみなさんにもお越しいただきました。病院で緩和ケアの取り組みなどの活動を展開されている専門家のみなさんと交流できるきっかけにもなりました。一般のお客さんが少なかったことなど、地域でプログラムを展開していく際の課題も実感したようです。

今後は、「つなガール講座」で体験したことをふまえ、薬局など地域の方々へ欠かせない身近な場所で、健康づくりの取り組みをどのように展開していけばいいかを考えていきます。

つながりプロジェクト③
担当：studio-L 林彩華

